
空のない町

猿芝居

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

空のない町

【Nコード】

N0679R

【作者名】

猿芝居

【あらすじ】

人々の心は荒み、太陽の昇らない町で一人の青年は夢を抱く

序章（前書き）

まだまだ初心者で、至らない部分も多々あると思われませんが
生温かい目で見守っていただければ幸いです
感想、指摘、アドバイスなどがあればお願いします

序章

機械の空。それは重々しく、朝も夜も訪れない、いつも同じ顔をした空

雲もなければ雨もない

そんな空の下で彼らは育った

500年前。

人々は機械を使い、自分たちの生活を豊かにした。しかし、その代償として山は削られ、川は濁り、動物たちは住処を追われた。

神は、調子に乗りすぎた人間に罰を与えた

――人間は地上から追放された

地上に、人間にとって有害なガスが漂い始めたのだ

その影響により、人間の人口は半分以上になってしまった

でも、人間は機械を使うのをやめなかった

人間は地下に町を作り、ガスから身を守ったのだ

地上から降り注ぐ、神の怒りを防ぐ鉄の屋根。彼らはそれを「傘」と呼んだ

人口は減ったが、まだ、狭い傘の下で暮らすのは多すぎる

人々の心は荒み、争いは絶えず、傘の下は無法地帯と化した

そんな中、一人の青年は夢を見る

序章（後書き）

感想、アドバイスお願いします

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0679r/>

空のない町

2011年10月8日18時06分発行